

地域日本語教育の展開と複言語・ 複文化主義

— 日本語交流・学習支援の現場に
焦点を当てながら —

「対話」の重要性

野山 広

国立国語研究所日本語教育・研究情報センター

「対話」の重要性

- 異なり(異なる言語・文化背景や違う価値観等)を持った人々に対する偏見や差別を軽減する工夫をいかに図るか。
- 同じ地域内に生活する隣人として共存してゆく覚悟を決めることの重要性。

⇒ 地域日本語学習支援の現場は、日本の多言語・多文化化の拠点であり水際となっている。

水際に関係した人々はなぜか、輝いて来る！

異文化の摺り合わせ≡「対話」場面の宝庫

地域，関連機関の責任と役割

- ◎地域社会，関連機関は，移民定住者の言語学習支援や子どもの言語発達に対して目に見えない大変な責任を負っています。
- ◎特に，子どもの言語習得過程は，その言語形成や人間形成に大きな影響を与えます。
- ◎よって，こうした水際の日本語支援に携わる場合，可能な限り，その人のもう一方の言葉の状況や言語環境について知っておく必要があります。このことが，その人の**学習する権利**や**人権**を擁護することにもなります。

バス旅行で引き出すこと

1. 「集合時間」の読みと意味
2. 「座席(表)」の読みと意味
3. 「出発時間」の読みと意味
4. 「解散」の読みと意味
5. 「集合時間」「出発時間」の本当の意味
6. 「間に合う」「遅れる」「遅刻」の読みと意味
7. 地域でのネットワーク作りの基本を学ぶ
8. その他



禁煙

Notice on the left wall.





2 こい
3 こい
4 こい
5 こい
6 こい
|||
X

ネットワーク作りのために、 いつから書くのか

- 学習者(配偶者)の安全を守るため
- 学習者(配偶者)の選択の自由を守るため
- 学習者(配偶者)の人権を守るため
- 自分の名前と連絡先等を書けるように
- 最初の授業(ゼロレベル)から書く
- その他